

日向東臼杵南部

広域連合だより

構成団体…日向市、門川町、東郷町、南郷村、西郷村、北郷村、諸塚村、椎葉村

ホームページ：http://www.city.hyuga.miyazaki.jp/rengo

【第8号】

平成16年10月発行

日向東臼杵南部広域連合
〒883-0034

日向市大字富高2192

TEL(0982)53-3401

FAX(0982)52-7889

清掃センターへのごみ搬入量

	15年度 (トン)	14年度 (トン)	増加量 (トン)
日向市	23,984	23,697	287
門川町	6,530	6,546	-16
東郷町	693	666	27
南郷村	217	215	2
北郷村	247	222	25
諸塚村	344	335	9
合計	32,015	31,681	334

15年度は32,015トンの搬入量のうち
31,505トン(98.4%)を焼却しました。



古紙はリサイクルへ
(510トン)

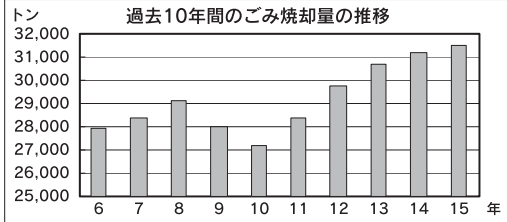
灰は最終処分場へ埋め立て
(3,468トン)

日向市富高にある「清掃センター」は、日向市、門川町、東郷町、南郷村、北郷村、諸塚村の一般家庭や事業所などから出された燃やせるごみを焼却する施設です。
昨年度は、6市町村合計で約3万2千トン、一日平均88トンのごみが持ち込まれました。昨年度と比べると年間300トンほど増えており、南郷村や北郷村の一年分以上のごみが増えたことになりました。
各市町村ではごみの量に応

じた処理費用を負担せねばならず、ごみの減量化は切実な問題。有料指定袋によるごみ出しの義務付けや、分別する品目の増加、生ごみは専用収集車が回収するなど、地域実情に応じた取り組みが積極的に行われています。
ごみ問題は、いまや最も身近な社会的課題のひとつ。ひとり一人の心がけが美しく住みよいまちを作ります。引き続き、ごみの減量化とリサイクルに対するご理解とご協力をお願いします。

～昨年(15年度)に比べて334トン増。一日平均88トン～
平成15年度清掃センターのごみ搬入量

過去10年間のごみ焼却量の推移



3月31日に、構成団体8市町村長による選挙が行われ、第2代広域連合長に就任いたしました。日向市長への就任に加えての重責に身の引き締まる思いであり、広域連合の充実・発展と圏域の連携強化に向け決意を新たにするところです。
地方行政を取り巻く環境は一段と厳しさを増し、まさに「選択と集中」の時代が到来しています。一方で、広域行政の必要性も高まり、多くの分野で近隣市町村が手を携えて住民福祉の向上を図っています。
本広域連合としても、圏域8市町村の連携と協調をもとに、与えられた事務事業の円滑な推進に向け努力して参る所存です。引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



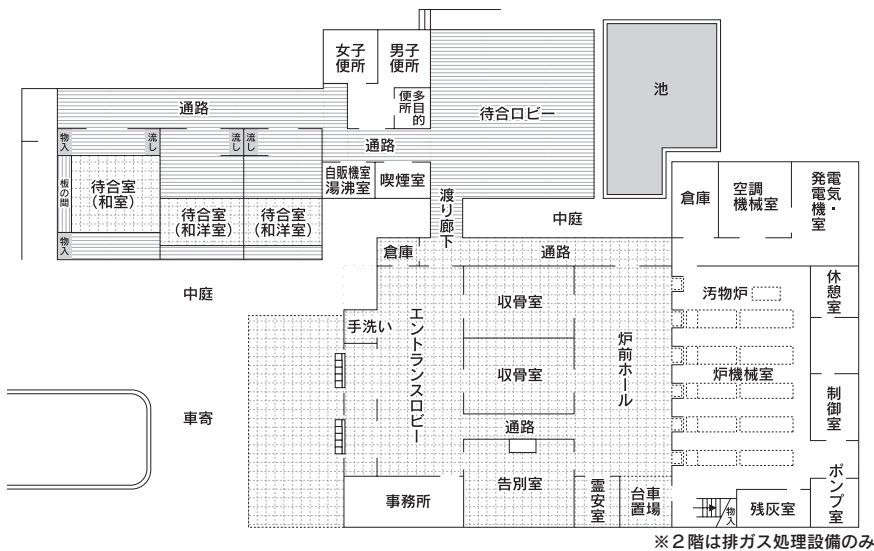
広域連合長 (日向市長)
黒木 健二

ごあいさつ

新しい東郷霊苑の完成予想図と間取り図



新しい東郷霊苑の完成予想図（右側が火葬棟、左側が待合棟）



所在地：東白杵郡東郷町大字山陰乙619番地
 総面積：1655.8㎡（火葬棟1152.3㎡、待合棟503.5㎡）
 構造：火葬棟＝鉄筋コンクリート一部2階建、待合棟＝木造平屋建
 火葬方式：並流燃焼方式
 火葬炉数：6基、（うち汚物炉1基）



東郷霊苑（火葬場）の建て替え工事を行っています。

完成は、来年の3月下旬を予定

広域連合では、東郷町山陰にある圏域唯一の火葬場「東郷霊苑」の建て替え事業を進めています。
 現在の東郷霊苑は、昭和53年に建てられ築後25年が経過。建物の老朽化はもとより火葬能力の低下が著しく、近年では利用者の皆さまから建て替えの必要性を再三指摘されてきました。
 平成13年度から進めてきた各種手続も順調に進み、現斎場の東隣を建設地として造成。今年2月から本体工事が始まり、来年3月末の完成を目指しています。
 現在、駐車場不足や工事車両の往来などご迷惑をお掛けしておりますが、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

火葬時間は、これまでの半分
 新しい火葬場の面積は、1,656平方メートルと現施設の2倍以上。火葬棟は、葬送の儀式が厳粛かつスムーズに行えるゆとりある間取りで、最新の火葬炉を導入。これまで点火から取骨まで3時間かかっていたものが、一時半まで短縮できる見込みです。そのため待合棟を充実させ、3つの個室を完備。圏域の特産物である耳川水系の木材をふんだんに使った温もりある空間で、心静かに取骨までの時間を過ごせます。

施設従事者も複数配置
 新斎場の運営体制も重要な課題。広域連合で行っている予約受付事務も斎場で行うこと

県内火葬場の火葬料金

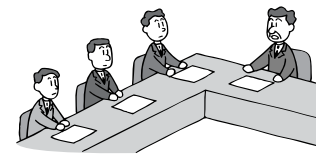
（大人・管内の場合・10月現在）

名称	所在地	供用開始	火葬料金(円)
宮崎市葬祭センター	宮崎市	平成7年	12,000
都城市斎場	都城市	平成2年	20,000
西諸広域葬祭センター	小林市	昭和59年	20,000
日南地区葬祭場	日南市	平成3年	20,000
串間市葬祭場	串間市	平成5年	20,000
東諸葬祭場	国富町	平成9年	15,000
西都児湯葬祭場	高鍋町	昭和55年	10,000
西米良火葬場	西米良村	平成7年	10,000
都農川南葬祭センター	都農町	昭和56年	10,000
東郷霊苑	東郷町	昭和53年	5,000
悠久苑	北川町	昭和53年	5,000
西臼杵斎場	高千穂町	昭和49年	10,000

し、これまで1名で対応していた管理体制も業者委託による複数体制に見直すなど、サービス向上を図っていく方針です。

火葬料金も変更する予定です。
 施設を運営していく上で大切な財源となる火葬料金。現在の東郷霊苑の火葬料金は、この25年間大きな見直しを行わなかったため、県内で最も低い額となつています。一方で、施設の老朽化により修繕費や燃料代などの維持費は年々高騰しているため、約7割は公費で負担している現状です。
 本来、火葬するために必要な経費は、施設の利用料金で賄うことが理想。現在、新しい斎場の火葬料金についても8市町村で検討を重ねています。

議会だより



〔平成16年第3回議会〕
補正予算の専決処分を承認

7月16日（金）、日向市役所において平成16年第3回議会（定例会）が開催されました。

提出された議案は、平成15年度補正予算の専決処分一件。現在施工中の新斎場建設にかかる起債額が3月末に決定したことにより、財源の組換えを行ったものです。（補正額はゼロ）
就任後初めての議会ということで、黒木広域連合長がいざつた後、提案理由を説明。審議の結果、全員一致で承認されました。

一般質問の要旨

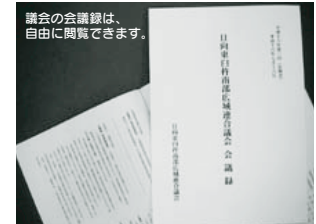
江並 孝 議員（日向市選出）
問 広域連合の中で、8市町村の共通課題を研究する部門を作ってはどうか。
答 現在、8市町村の企画担当課長で組織する「日向入郷広域行政研究会」が設置されている。そちらの協議を見据えながら、適時必要な連携を深めていきたい。政策課題に対して、正副連合長が協議する仕組みを構築せよ。
問 この4月に、8市町村長の合意により、「正副連合長会議」を設置した。広域連合の重要政策事項の検討や決定など、有効に活用したい。
答

岩切 裕 議員（日向市選出）

問 広域連合の中で、広域行政を研究する諮問機関を発足させ、新たな展開を積極的に模索してはどうか。
答 「日向入郷広域行政研究会」が、その役割を担うことが望ましいと思う。住民ニーズの把握や財政事情など、まず、個々の市町村単位で広域行政の必要性を検討することが優先されるべきと考える。

審議した議案等とその結果（○議案、●陳情）
○専決処分の承認について
（平成15年度日向東白杵南部広域連合補正予算（第2号））
承認 全員一致
●一般廃棄物最終処分場の予定立地の再考について
継続審査 全員一致

7町村の一般廃棄物最終処分場事業に関する一連の調査結果等が公表され、用地の不足などの課題が示された。加えて、日向市の不燃物処理場は耐用年数を超え、焼却施設の更新を検討する時期も迫っている。これらを踏まえ、門川町の最終処分場事業を一時棚上げし、総合的な広域ごみ処理のあり方を再度検討すべきではないか。
最終処分場の施設基本計画方針では用地の不足が見込まれるなど、検討を要する課題が出てきた。一方、現在、ごみ減量化のためのリサイクルプラザ整備を8市町村で検討中である。今後は、「ごみ対策協議会」など関係機関との整合性を図りながら慎重な論議を重ね、事業のより良い方向性を模索していきたい。



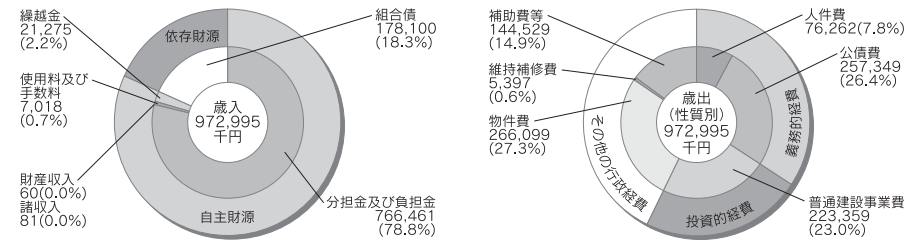
議会の会議録は、自由に閲覧できます。

広域連合議会 議員名簿（議席順）

議長	甲斐敏彦
副議長	米良昭平
議員	新名敏文（西川町）
	早田卓男（東郷町）
	那須義雄（北郷村）
	甲斐美義（椎葉村）
	岩切 裕（椎葉村）
	濱田卓彦（日向市）
	黒木 優（南郷村）
	江並 孝（日向市）
	朝倉利文（門川町）
	黒田昭弘（北郷村）
	田原千春（東郷町）
	黒木正（諸塚村）
	黒木勤（西郷村）
	片田正人（日向市）
	梅田義輝（日向市）
	黒木植男（諸塚村）
	松本弘志（西郷村）
	鈴木三郎（日向市）
	寺原速美（日向市）
	小谷信義（西川町）

15年度の決算（見込み）がまとまりました。

広域連合は、市町村（構成団体）が共同して事務処理を行う「組合」です。そのための経費のほとんどは、構成団体が拠出する「分担金」で賄われています。昨年度の歳入歳出決算額は約9億7千万円。このうち、ごみ処理事業で5億7千万円が支出されました。決算は、11月議会で審議されます。



広域連合では、火葬場、最終処分場、ごみ処理施設、し尿処理施設の4施設の業務を行っています。これらの施設は、生活に欠かせない大切な施設ばかり。8市町村では、これらの運営経費として**15年度 6億3,747万円**の分担金を拠出しました。

市町村別・事業別分担金の内訳 (単位：千円)

	一般管理費	火葬場事業	最終処分場事業	ごみ処理事業	し尿処理事業	合計
日向市	17,793	21,586	0	273,889	85,947	399,215
門川町	5,696	7,910	4,177	94,532	0	112,315
東郷町	2,884	3,234	1,309	24,421	15,872	47,720
南郷村	1,883	1,007	792	20,373	0	24,055
西郷村	938	1,039	828	0	0	2,805
北郷村	1,879	903	675	20,537	0	23,994
諸塚村	1,904	951	730	20,963	0	24,548
椎葉村	903	909	1,011	0	0	2,823
合計	33,880	37,539	9,522	454,715	101,819	637,475

15年度に行った主な事業

東郷霊苑

新斎場の建設工事（16年度も継続）
” 火葬炉工事（ ” ）
現斎場の漏水箇所修理

最終処分場

住民参加の先進地視察
生活環境影響調査（15年度から継続）
施設基本計画策定業務（ ” ）

清掃センター

給じん装置改修工事
ダイオキシン類測定分析
各種機器保守点検

調査結果の地元説明会開催

広域連合では、日向市を除く7町村の不燃ごみを適正に処理するため「管理型最終処分場」の建設事業を進めています。今年3月までに、建設予定地である門川町栄ヶ丘地区を中心に生活環境影響調査を行い、同時に施設基本計画方針を策定しました。その結果、生活環境影響調査では特に問題はないものの、基本計画方針では用地の不足が生じるなどの課題が判明。結果をまとめた報告書は、各役場で公表しています。



5月27日（木）、門川町クリエイティブセンターで開催した地元説明会には46名が出席。調査会社や広域連合職員の説明のあと、施設の安全性に対する不安や、最新施設の視察研修を求める声などが寄せられました。

最終処分場の確保は、7町村共通の深刻な課題。広域連合では、一連の調査結果等を受けて、事業のより良い方向性に向けた検討を関係機関と重ねていく方針です。

清掃センターを見学しませんか

日向市富高の清掃センターは、日向市、門川町、東郷町、南郷村、北郷村、諸塚村の家庭などから出されたごみを焼却する施設です。私たちが生活する上でどうしても出してしまうごみ。それが、どのように処理されているか見てみませんか。昨年も千人を越える方々が清掃センターを見学。まず、大量のごみの量に驚き、分別収集やリサイクルの大切さを肌で感じていたようです。

清掃センターでは、施設見学を随時受け付けていますので、ご希望の方はお気軽にお問い合わせ下さい。

15年度に見学された皆さん

	団体名	人数
小学校	北郷小学校	16
	平岩小学校	23
	草川小学校	70
	門川小学校	90
	富高小学校	80
	塩見小学校	22
	財光寺小学校	98
	財光寺南小学校	62
	日知屋東小学校	105
	坪谷小学校	12
中学校 高校 (体験学習)	大王谷小学校	129
	諸塚村内4小学校	44
	都農東小学校	31
	越表小学校	13
	日向中学校	3
一般	財光寺小学校	4
	大王谷中学校	4
	富島高校	3
	門川町議会	8
	広域行政調査特別委員会	
	門川町加草地区婦人団体	10
	東郷町「白鳥女性学級」	16
	東郷町「山ざくら花学園」	17
	日向衛生公社	16
	東郷町社会福祉協議会	30
	諸塚村家代婦人会	24
	北海道幕別町議会	11
	日向市山南区「やまびこ会」	20
	日向市塩見ヶ丘高齢者クラブ「秋桜会」	20
	東郷町女性学級「ネコヤンピシ」	22
宮崎県小・中学校初任者教育研修	15	
合計		1,018

小4年生の感想文から
 ・ごみを燃やすのにたくさんのお金がかかるなんて知らなかったです。
 ・分別収集が町をキレイにするのよ。みんなも協力してね。
 ・私もリサイクルを勉強してごみを減らしたいです。
高校生の体験学習から
 ・この体験を通して、ゴミの分別や人間関係、社会人として必要なことまで、いろいろ学べたので本当に良かったと思います。
 ・どんな仕事でも一生懸命することが大事だと思いました。

